

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 小松精機工作所					
代表者名	氏名	小松 滋	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県諏訪市四賀942-2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車部品製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	4,505	4,400	4,220	4,610	4,286
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	8,270	8,050	7,735	8,464	7,865
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	13		13	13	13
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	23				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	総務課窓口にて対応(TEL:0266-52-6100)8:30～17:15
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

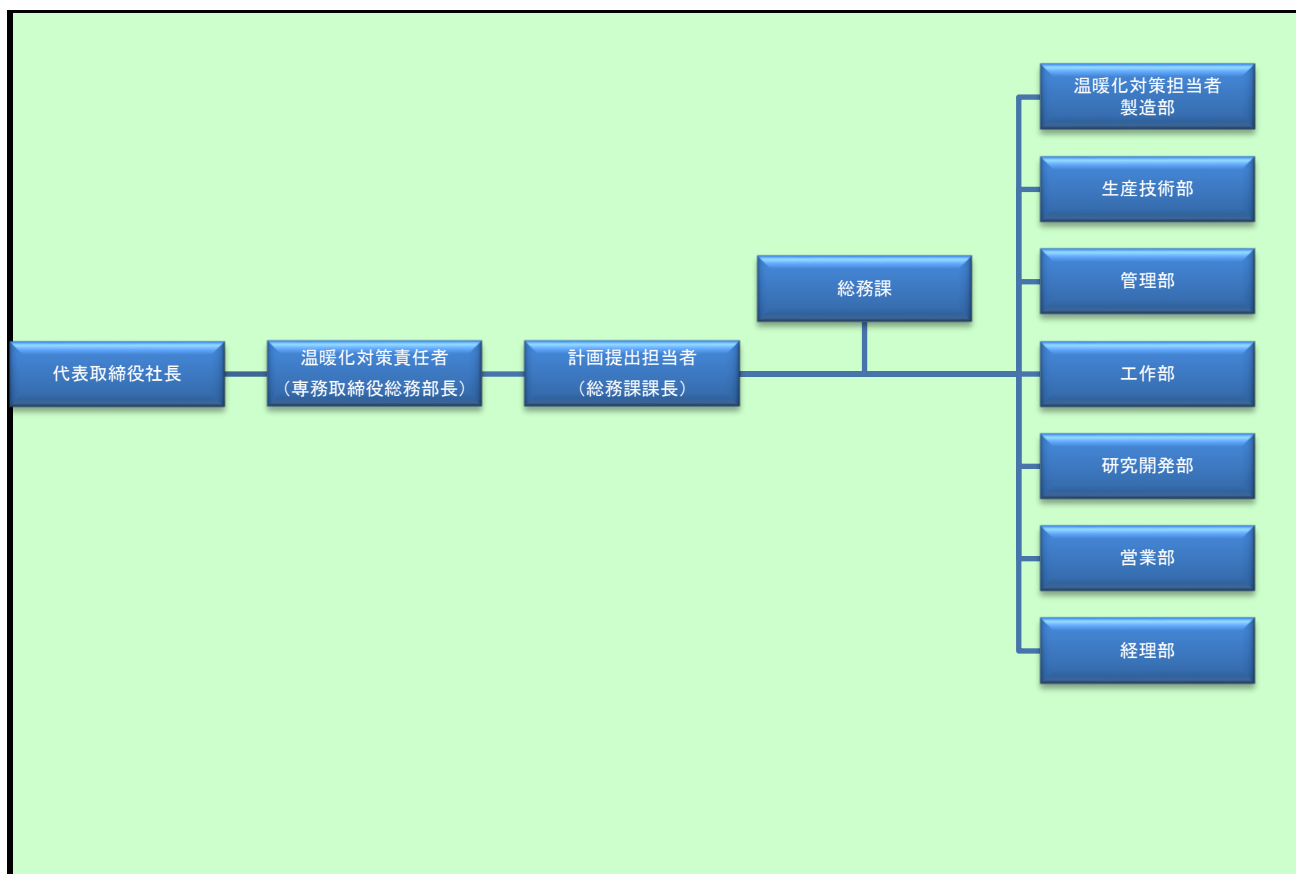
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境整備の推進

- 1・エアリー漏れ・エアブローの改善
- 2・照明関係省エネ活動
- 3・生産設備・付帯設備の省エネ推進
- 4・カーボンニュートラルプロジェクトチーム発足

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

安全衛生環境委員会 (年2回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,270	t-CO ₂	売上×労働時間	4.14	単位	万円・h
2019年度	調整後排出量	8,270	t-CO ₂	基準原単位	1,997.58	t-CO ₂ /	万円・h
目標年度	目標排出量	8,050	t-CO ₂	目標原単位	1,937.65	t-CO ₂ /	万円・h
2022年度	目標削減率	2.66	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	コロナの影響もあり効果が数字として表れるか不安ではあるが、年間1%削減できるように努力していきたい。						
第一年度	排出量	7,735	t-CO ₂	売上×労働時間	3.52	単位	万円・h
	削減率	6.46	%	原単位	2,197.44	t-CO ₂ /	万円・h
2020年度	調整後排出量	7,735	t-CO ₂	原単位削減率	-10.01	%	
	削減率	6.46	%				
排出量等の増減理由	コロナの影響で売上が減少したが、電力使用量の減少割合が少なかった。機械の稼働時間、空調稼働時間等の減少率は売上に対して大きく減少しなかった為。						
第二年度	排出量	8,464	t-CO ₂	売上×労働時間	3.92	単位	万円・h
	削減率	-2.35	%	原単位	2,159.18	t-CO ₂ /	万円・h
2021年度	調整後排出量	8,464	t-CO ₂	原単位削減率	-8.09	%	
	削減率	-2.35	%				
排出量等の増減理由	コロナの影響が引き続いているが、前年度よりも影響が和らいだことで電気、ガスの使用量及び売り上げ、労働時間も増えた。空調や設備の稼働時間よりも生産効率が上がったことで原単位が減ったと考えられる。						
第三年度	排出量	7,865	t-CO ₂	売上×労働時間	3.46	単位	万円・h
	削減率	4.89	t-CO ₂	原単位	2,273.12	t-CO ₂ /	万円・h
2022年度	調整後排出量	7,865	t-CO ₂	原単位削減率	-13.80	%	
	削減率	4.89	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	コロナの影響で売上が減少したが、電力使用量の減少割合が少なかった。機械の稼働時間、空調稼働時間等の減少率は売上に対して大きく減少しなかった為。						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	23	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360705	エアー漏れ・エアーブローの改善	2020～2022	3	2020～2022	2.5
2	エネ起	380752	照明設備の「LED化」推進	2020～2022	3	2020～2022	2.5
3	エネ起	その他	生産設備・付帯設備の省エネ推進	2020～2022	9	2020～2022	9
4	エネ起	380752	照明関係省エネ活動	2020～2022	10	2020～2022	9
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	8,270	1	7,735	1	8,464	1	7,865
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	8,270	1	7,735	1	8,464	1	7,865

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車	2	2	2	2
その他 (ハイブリッド等)	7	7	7	7
合計	9	9	9	9
自動車総数	13	13	13	13
次世代車導入割合	69.2	69.2	69.2	69.2

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	配送便をなるべく少なくまとめて送るようにする。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2000
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	無駄どり活動		2020

1.5 自由記載欄

昨年に引き続き社長指示の元、無駄どり活動を実施しており、インフラ消費低減にも力を入れております。カーボンニュートラルへ向けて全社活動として取り組むため、プロジェクトリーダーを社長としたプロジェクトチームを立上げ昨年度より活動を推進している。